

# こんにちは 松坂みち子 です

日本共産党市議会議員 松坂みち子の活動報告  
ご意見など、ぜひお寄せ下さい。

< No.323 2017.6.21 連絡先 402-1622 >



## 一般質問行いました

### 国保・滞納処分で市民を追いつめるな

今年4月、市が、国保料を分納誓約をしてちゃんと払っている人たちに、期限を切って、全額払わなければ差押えする、という内容の文書を送ったことから、共産党市議団は申し入れを行い、市も「配慮が足りなかった」「今後はより丁寧に対応する」との回答をしていました。しかし6月になって、昨年までは「分納誓約書」を送っていた人でも、原則2年間で完納の目処がつかない人には「債務承認書」を送り、そこには「差押えされても異議はない」とあることがわかりました。市は分納誓約できない人は滞納処分の対象であるから差押え等を行うといっています。誓約できなくても、相談して払い続けている人はいます。そういう人は「悪質」といえず、差押え等行うべきではない、滞納処分で市民を追いつめてはならないと、主張しました。

### 市民が安心して楽しくスポーツができる環境を

スポーツ基本法ができて6年目の今年3月。国は第2期スポーツ基本計画を策定しました。そこでは「1億総スポーツ社会をめざす」としていますが、国の予算措置については延べられず、財源は補助金の適正化や寄付や投資を活性化させるなどとしています。

市には、2013年に策定した10年間のスポーツ推進計画があります。そこでは「各種スポーツ施設の充実を図り、市民のニーズに応じていく必要がある」というものの、5年たっても状況は変わっていません。今年、計画の見直しを行う際、市民の声をしっかり聞くように、また、市民スポーツ広場の整備も含め、市民が安心して楽しくスポーツできる環境を現実として展開することを、予算措置も含め、市としての責任を果たすよう、求めました。

### みち子のひとりごと 続初体験

清水ただし衆議院議員に会った時に名刺を交換しました。清水さんが「新しい名刺ができたんですよ」と言いながら、名刺にスマホをかざすと、あらまあ、びっくり！スマホの中で名刺の写真だった清水さんが、動き出したではありませんか。しかも、おしゃべりしながら。自己紹介、政治の話、大阪の話をした後、最後は「行き倒れより食い倒れの大阪に」と。ほんの40秒ほどの間に。すごいすごいと喜んでいたら、今度は裏返してスマホをかざします。またまたびっくり！画面に清水さんができてきてポーズをとっています。隣に

来るようにすればいつでもどこでもツーショット写真になります。体験してみたい方は、ぜひお声をかけてくださいな。(隣は中村あやと議員)



## カジノ問題を考える学習会

18日、清水ただし衆院議員による、上記の学習会に参加しました。

カジノはそもそも刑法違反。日本は西暦689年の持統天皇による双六賭博禁止令以来、賭博は禁止してきた国民。戦後になって、復興のための資金調達のためもあり、公設公営の競馬・競輪などを公益のためとして認めてきた。パチンコは遊戯としているが実際は賭博。

ギャンブル依存症は全国で536万人。国際的には脳の疾病とされているが、日本では自己責任とされ、専門の医療機関がない。

IRに「愛」はない。観光振興・経済成長は欺瞞。儲かるのはカジノ運営会社だけ。カジノの売り上げは負けた人のお金。人の不幸の上に富を置く一経済成長とは言えない。

和歌山の成長は地元の魅力を発信してこそ。住んでよし、訪れてよし、観光立国推進法の基本原則を。

という話を、身振り手振りを交え、ちょいちょい入る物まねとダジャレ、笑いの中で語ってくれました。

終了後、マリーナシティへ現地視察に行きました。日曜日だったこともあり、たくさんの人でにぎわっていました。



こんにちは

原やすひさです



皇の「双六禁止令」から千数百年の歴史の教えだ。賭け事で損をし、

パチンコを一度もしたことがない、という人は少数派だろう。古来、賭け事は人の抑えがたい欲望のひとつなのか。禁止すれば地下に広がる。だが、「カジノ解禁」には賛成できない。身を亡ぼす人がふえるだけだ。

賭け事をお天道さまのもとでやってはならないというのは、持統天

身を亡ぼす人を生み、それを経済の「起爆剤」などに使うという政治は「悪代官」並みだ。

アベ首相は外国カジノを視察して「日本の経済成長に資する」といったが、人の不幸を踏み台にしてはならない。カネが欲しくても、してはならないことがあるのだ。

### カジノを考える市民集会 カジノで街は どうなるんよ？

7月19日(水)  
18:30開会  
プラザホープ2F多目的室

講演  
「カジノ解禁推進法の問題点」  
吉田哲也弁護士

- ・全国カジノ賭博場設置反対連絡協議会事務局長
- ・日弁連カジノギャンブル問題検討ワーキンググループ委員長

主催：カジノ問題を考える和歌山ネットワーク準備会